

件名	第3回松崎地区駅前活性化協議会
日時	2017年1月16(月)19:00-21:15
場所	中央公民館2階
出席者 (敬称略)	協議会委員13名、谷口、高野、上治、本庄、川崎、立木、岸田、速水、北村、遠藤、山柘、安部、河井、役場3名、地域おこし協力隊2名、オブザーバー1名
決定事項 (合意事項)	次回日程2月20日(月)、鹿野視察日 事務局委任 現地と調整
次回までの 調整事項	今回の討議から抽出した検討テーマに対する、各委員の意見・アイデアを持ち寄る。
配布資料	委員より提示された意見のまとめ表

## 開会

会長)出席委員さん3名欠席で、13名出席。役場より3名、協力隊より2名出席。

名簿にはないですが、協力隊の伊藤晶子さんが参加します。

## 事務局【自己紹介】

会長)オブザーバーで米田さんが参加されます。

各委員さんから重点取り組み事項を提示していただいた。この件について、テーマの絞り込みに入ります。

検討ボリュームが大きいのでまとめるのに作業時間かかったのではないのでしょうか。

熱心に取り組んでいただきありがとうございました。

## 【レジュメの説明】

議事にはいります。

1枚目は魅力になっている。1項目7,8分で討議する。5分でタイムキーパーが合図する。全員話して頂く時間はないので、ぜひ活性化にいかしたいことを重点に話していただきたい。

会長)委員さん、A-人の背景についてどうか。

委員)基本的にはこの地域でコミュニケーションをとって、わかりあうことが前提かつ必要。それがあってから、県外のひとにアピールしていかないといけない。そのような気持ちで書いている。

委員)まちづくり活性化ためには「地域も人もいい」と思って書いた。

委員)移住定住が進行している。もっとPRして、形で示していくと、移住定住が増えていくのではないか。

会長)支え合いをどういかしていくか。自分の想いだが、先般の「まつぎき元気まつり」は区長が中心になって開催されたように、活性化には人と人とのつながりをどのようにやっていくのが重要なテーマになっていく。この項目では、助け合いやコミュニティづくりに取り組んでいくことが1番重要と判断した。地域でのつながりや支え合い(区内・松崎地区内)をどのようにつくっていくかをテーマにしていきたい。

委員)お互いにふれあい作りをしていきたい。

会長)個人だけでなく、各区もふくめてどのようにやっていけばいいでしょうか。

委員)三八市とか、やっているが、日常的に集まれるような場をつくること。高齢者も若いものも集まれる場所。

まちづくり(株)でも考えられていると思うが、これを進めたい。

会長)東郷池の対岸に住む委員さんから見て松崎はどんな感じでしょうか。

委員)松崎のコミュニティは高いと思う。(具体的には)私が羽合には日中にいないのが原因だと思うが、羽合ではたまの行事のときでないと人が集まらないし、欠席する人もかなりいて、来ない人は全く来ない。行事ごとだから参加している感じがする。

会長)次回以降は、どのようなことに取り組む(対策)するかを考えていきたいので、事務局より発信して皆さん

に考えてもらえるように進めていきたい。

次に、B-環境という面で、コミュニティについてご意見がでていますが。

委員)2区とか、3区とか中心になっている。たみは頑張っているが、本日参加の方でたみに行かれた方がどれ位いるのか知りたい。そんなにないかと思う。私は2-3回あるが。高齢者も若いものも集まれる場所として新しいところが必要。たとえば元のJAなどをそのようにしていくのは1つの方法かと思う。

委員)ここは昔ながらの地名や老舗がある。たとえばかんまち、なかまち、しんまちの名前などそこをアピールしていくのがいいかと思う。

会長)休みの日は人通りがあるか。

委員)ありません。全く通らない。商店がない。寄るところがない。寄って話す場もない。それに土日は家族で他所へ出かけるのではないか。

会長)委員さん、レトロな町並みと書いているが。

委員)観光協会の絡みでカニバスをしているが、カニバス絡みで歩いている人も増え、少しにぎわいが戻ってきたのでは。観光客の会話を聞くと「昭和だな」とか言っている。ただし、しかけがいるなどと思う。各家の花壇に花とか、のれんをかけるなど、町のカラーがあるとインパクトがあると思う。

委員)よその県で、田舎の電話帳に屋号が書いてある。屋号を調べるとか、他の県から来た人 地域の人の共通の知識を持っているとか。そのようなことが必要ではないか。

委員)町営住宅もあるが、入居者が少なくなってきた。旭とか龍島の方に住居を増やしてはどうだろうか。

会長)空き家バンクは？

事務局)あるが、この辺では登録者はない。

会長)まとめとして、レトロ街、古い家並みを活用できる仕掛け作りを検討していく。これをテーマとする。

会長)Cのイベントについて

委員)三八市は10月メインだが、各季節にウォーキングとか他のイベントが頻繁にあるので、それらと連携できないか。

会長)イベントの効能についてはどうか。

副会長)振り返ると、松崎では集まって何かすることといえば、三八、松崎神社の秋まつりしかないようだ。

そこで公民館祭りを三八と一緒にやった。このようなことを増やしていきたい。三八を月1回に増やすとか、みんなが関わるイベントが少ないので、みんなが係わるイベントが増えるといい。

会長)まつぎ元気まつりは区長会が主催。小中学校や花見地区など多方面との交流があったのが成功要因だ。

会長)委員さんの意見は。

委員)自分は水郷祭には長年関わってきた。これに関わっている人は水郷祭をよく知っているが、そうでない人は何も知らない。誰が関わっているかすら知らない。皆さんに関わってほしい。

委員)水郷祭も三八もいいイベントだと思うし、他にももう一步活性化につながるものが出来るといい。

会長)もう一步活性化に繋がるといわれたように、地域イベントを住民主体に進めていくにはどうやっていったらいいかをポイントに検討していきたい。よろしいでしょうか。

(まつぎ元気まつりを経験した区長さんの中には、また推進したい、と言われている人がいますから)

会長)次にDの「自然景観」。東郷湖の「湖」は観光にはいいのだが、本来は「池」と呼ぶべき。

委員)観光には「湖」でいいと思う。基本的には「池」を使う。自分はそう思っているが、町としてはどうするか。

会長)委員さんのご意見は。

委員)何か一番をつくらなければならない。東郷湖を利用して、人を集めるしかけを考えなくてはならないと思っている。天女もいいが、たとえば蒸気機関車を走らせられないか。絵的なところ、夕日だとかアピールして、一番の何かを発信していきたい。

会長)自分は米子出身なんだが、松崎のよさは景観がいい、池と家が近い。これがいい。

委員)松崎にはこれだけいいものがある。幅広く皆さんに見て頂くことが出来ないか。内々の自己満足に終わっていないか。そこから具体的に書きすぎてもいるかもしれないが、プロモーションビデオをつくっている話もある。大山町ではやっているようだ。その辺を利用しながら押し付けにならない、来て見たいと思うものを作ってはどうか。

委員)賛成。観光地でありながら情報発信が出来ていない。関西の方では一部あるようだが、観光協会の動画がつくっているが、行ってみたいと思わせるものに、たとえばドローン使って撮影とか、あのようなものが必要では。

委員)すごくいい自然がある。東郷池も素晴らしい。でもまず来ていただくことをどうしたら良いかが大事。情報発信していかないとけない。ノルディックで来る人もいるにもかかわらず、藤津荘の跡地を放置しておくのはいかがなものか。どうにかしてほしい。

副会長)東郷池はすばらしい。このすばらしさをなんとかPRしたい。夕方TVを見ていたら境港で鯖の養殖を始めた。東郷池ならしじみを使って、観光客がシジミ狩りできるとか、みなさんが喜ばれるようにしたい。さらに、足湯について、もっとオープンにした施設、広い足湯施設が欲しい。喜ばれる施設が必要。

委員)イベントで魚釣り、風景写真撮影をやり、そのあとに公民館で展示会をやるなどがいい。

会長)情報発信ですね、委員さん

委員)そうですね。

会長)委員さんは倉吉出身だが、東郷湖についてご意見は。

委員)小さな子供がいると、どうしても遊ぶ場がほしい。今は遊ぶ場が無い。大きな子供だとボールひとつで遊べるが小さな子供を遊ばせる場が必要。たとえば、大山ならアスレチックがあるし、そのような場所が東郷池周辺にあればいいと思う。

会長)素晴らしい東郷池を活用していく。観光組合との連携もあります。この項目のテーマは東郷池の情報発信をどうしていくかになる。

会長)次にE-温泉です。

副会長)社長がおられる前で発言しますが、旅館が少ないというのが致命傷。ここでは養生館と水明荘になる。人が集まる場所を作れば、泊まろうかともなるはず。そこで駅前や湖畔公園などにフリーに足湯が出来る場所を用意したい。人を呼び、いい想いをしてリピーターになってもらう。イベントのように一過性のものではなくやりたいので、温泉に関係する「気軽に利用できるすばらしい足湯」を宣伝したい。

委員)温泉も単体ではなく、東郷池とセットにして相乗効果をあげられる情報発信が必要。

委員)鳥取県では、温泉卵ができるのは東郷池しかない。そのあたりも認識してもらいたい。

委員)いろいろありますね。そのままの温度90度では、ゆで卵になっちゃう。

委員)温泉卵も出来ますよ、みたいなことも発信できれば

委員)温泉卵一つではだめだと思うが。

委員)温泉は泉質もよく湯量も豊富ですし、この温泉を利用しない手はない。鳥取の日帰りのぼかぼか温泉に孫と一緒にいったらすごい人。こんなのが松崎駅前にあるといい。

委員)温泉を使って、何かを養殖して販売、あるいは温泉の名物料理を食べる機会などを作っては。

会長)養生館さんの名物料理は？

委員)こい、かに、しじみとか。お客の好き嫌いが激しいので、地元の人と県外の人とはどちらかというと好み異なる。県外の人にはあわび、イセエビ、鳥取和牛、かになど。そのほかにいいものがあるが、簡単には飛

びつかない。県外にアピールするには工夫が必要。しじみは人気がある。シジミご飯とかしじみ釜飯など。でも手間がかかりすぎる。どこでも出せる料理が必要。重要なことは1軒だけで作ってもだめ、「みんなで名物にする」必要がある。

委員)温泉が出るのだから、地熱や温泉の湯を利用したビニールハウスとか、野菜の苗づくりとか。発想のヒントがはずれるが、ハーバード大学がピーナッツがいいと言っていた。温泉と相性がよければ、どうか。温泉を利用してピーナッツ作りや野菜ができないか。

会長)足湯をやってみたいという人の意見はどうでしょうか。

委員)足湯は7カ所ある。どちらかというと県外の方より、地元の方の利用が多い。地元の仲間同士の交流の場になっていて、観光客が使いにくいようになってしまっている。

会長)温泉を利用するしくみづくりとどんな情報をどのように発信するのか、足湯活用等のハードをテーマにしたい。

会長)F-スポーツに関して、ウォーキングの関係で委員さん

委員)松崎には、古い街並み、松崎神社、古いお寺3つ。そのような文化財、小学校跡地など、コースに設定して整備をしたうえで歩いてもらう。いくつかのコースを町のパンフレットにいれるとか。地区でつくるとかする。松崎地区の基本的な観光や文化知識を地域の皆さんが言えるようにしておきたい。そんな文化的な知識などのパンフレットをつくる。他のところなのですが、(パンフを開いて見せる)このようなものをつくって配布するとかして、散策コースもつくる。

委員)情報発信のことが、しまなみ海道はサイクリングで世界にも名の通った位置づけである。ウォーキングでもそのような位置づけをすれば湯梨浜だろう。しかし今のままではだめで、ソフトもハードも整えなくてはならない。ソフトとしては委員さんの言われるように、歩いてみたくなるものを織り交ぜるコース作りが必要。

委員)グラウンド・ゴルフでは発祥の地なので、人は集まっている。大会では750~800くらい人が集まる。発祥地のイメージはあるが、宣伝が出来ていない。うまくやらないといけませんが、町(行政)が宣伝しているので営利目的ととらえられてはいけないうで発信がしにくい。営利目的としてもっとどうにかしてもらいたい。材料は最高のものがあるので最高のアピールをして欲しい。

会長)スポーツ関係では、資源と資源を活用した組み合わせ等の新たな取組みと宣伝が重要というテーマにする。

会長)次にG-施設

委員)水明荘を名物料理で集客できるようにする。

委員)駅の活用をしたい。学校バスが停まる場所なので、大人が見ていられるようにしたい。

委員)パニーニさんがいろいろ新しいものを作っている。あそこは人が集まって話をするような場所になっていると感じる。

会長)松崎駅に関して、委員さんが倉吉に通勤通学する人が利用するのだから、松崎はベッドタウンとしてPRがあってもいいのではないかと記述している。気にする人もいるかもしれないが、今年の6月に瑞風が一時停止するがどうか。

事務局)停車するが開かない。

委員)駅長曰く、停まるだけだが町民の人に手を振ってもらいたいと言っている。

委員)湖畔公園について、もっといろんなイベントに使えないだろうか。水郷祭のとき以外は使われていない。広いし、もっと利用すべきと思う。

会長)次の頁にもあるが、活性化のために駅を利用することを検討していく。よろしいでしょうか。

松崎駅を中心にして施設の利用法を考える。

続いては問題点。

会長)J-人口減少について。委員さん

委員)いわゆる、湯梨浜近辺には勤めるところがない。産業を呼ぶのは難しいことなので、観光について活性化を考えるのがいい。観光で雇用の場を増やすことができないだろうか。

委員)今、委員さん言われたように、雇用が無いので子供たちが帰ってこない。子供たちが外に出てしまっている。松崎に帰っても仕事がないよね、と言われる。人口減少を食い止めるには仕事。観光を産業に仕事をふやして、人口を増やしたい。

副会長)働く場所がないから人が来ない。人が来ないから、商店街が疲弊、という悪循環。人が来ることを考えていかないと人口が増えていかない。その辺を考えていかないと減りっぱなしになる。人が集まる工夫が必要。

委員)今は人口減少が問題。しかし出生率は増えている。地域によって違う。羽合では人口が増えている。将来的には、産業は農業が中心でも増えるのでは。湯梨浜は米子にも鳥取にも3、40分でいけるようになるので、ここは住む場所になるのではと思う。オランダとかは農業も工場化している。そのようにすれば新しい産業が生まれるのでは。あとは難しい。地元から発進した産業をつくるのがいいのかなと思う。

会長)絞り込むのは難しい。

委員)最終的には中部地区に勤め先を持ってこることだが。若い人に企画運営してもらうイベントが欲しい。若い人に残ってもらいたいので、若い時にちょっとした活動をしていたら、都会に出ても戻ってくるのでは。

会長)昔は青年団。地域では、今は愛好会がある、旭区は成年会。それなどが必要なのでしょうか。

会長)地産地消に関して

委員)書いたとおりだが、地元の食材を使ってほしい。

委員)今は松崎で考えているが、あまりこだわらず、野花の梅干や泊のサカナなど他の地域のものでもこの地域産のものとして地元で売り、みんなも買うように努力していく。具体的にやっているかというやっていない。農家の人が農協のタイアップをしたりしているが、まず、地元から大事にしていくという気持ち。つながりを大事にしていく。それが地域を大事にしていくことになる。みんなが地元のものを買う努力する。今の状態では、大きな店で買うとみんな利益が外部に出てしまっている。この考え方を大事にしたい。

会長)雇用については、若者のイベント参画、若者の活躍の場をどのようにつくっていくか、若者に焦点を絞る。

会長)次に、K-環境場所についてですが。

委員)人間同士の交流が必要と言っても、社会的に財源が乏しいし、大きなものをつくるよりも、今あるものを利用していきたい。

会長)買い物関係、委員さんお願いします。

委員)人の集まりに関しても、できるだけ大勢が集まれる場所が必要。松崎の4区などなにもない。いろんな地区の人が集まれる場所が欲しい。駅前にあるといい。

委員)家には家族がたくさんいるが、梅やさんがやっておられるような、あんな感じでAコープが広いスペースになってできるといい。そこへ農家から直接野菜を持っていき、売れるような場所。そんなしくみづくりがあるといい。軽トラで売りに来るのもいい。

会長)松崎にはコンビニが2軒もあって都会だ。しかし魚とか、肉とか、新鮮野菜、そのようなものが欲しい。高齢者で車を利用できない人がいるので交通システムも必要。

委員)買い物というのは買うという行為だけではなくて、声をかけ合うことである。Aコープがあったときは人の接点があった。そのような施設が欲しい。

委員)町の支援するスーパーが欲しい。Aコープがなくなったので、何か考えてほしい。イベント会場も駅前に

欲しい。

副会長) 空き家があるようで住める家がない。ワンルームあたりでも大東建託のものくらいしかない。たとえば倉吉に勤めているサラリーマンが松崎に住もうと思っても、住めない。住まいのことも考えてほしい。  
会長) 買い物、交流施設、一体化する施設や住居の整備をどのようにするかを検討していく。

会長) 次にL-既存施設の活用について

委員) Aコープの活用。町で買い上げて何かしてほしいが、むりだろう。買い物に行くのは自転車ばかりではないので、買い物先を作って欲しい。

副会長) Aコープは空き店舗になってしまったが、なんとか活用できないだろうか。あのあたりから活性化できないだろうか、考えていきたい。娯楽の場でもいいし、集まれる場所はその場所が良い。駅にも近い。

会長) 1区はAコープまでのアクセス面で懸念がある？

副会長) そうでもないが、高齢の人には循環する乗り物があるといい。

委員) 方地地区での話だが、数名で集まりを作って、あるところを使って野菜を売っている。ボランティアである。こんな方法であっても何とか始めたい。

会長) Aコープの活用についてはなにかあるか。空き店舗については。

委員) 駅といえばまちの顔のはず。現状は通勤通学程度でしか使っていない。野菜販売とか地産地消とかスペースを利用してはどうか。

委員) 難しい話だが、空き店舗利用、Aコープもそうだが、奉仕の心で使ってもらえたら。

会長) まずは旧Aコープの活用方法、松崎駅舎の空きスペース、空き部屋、空き店舗、利活用していくことをテーマにする。

会長) 次に温泉

委員) 温泉を利用して、熱帯植物園、熱帯魚水族館などどうかな。温泉を利用するべき。

会長) 温泉熱発電などどうか。

事務局) 昨年からは活用し始めた。温泉2号泉、4号泉からの温泉により温泉熱発電をし、龍鳳閣と水明荘へ流して活用している。水明荘ではシャワーや厨房での熱に活用している。

会長) 観光と集客、目玉はないとありましたが、いかがか。

委員) 温泉場であってもこれといった目玉がない。旅館も少ないが、老舗の養生館、水明荘があつて、店も商店もないが、目玉を作れば少しは動くのではないか。

委員) 鹿野では、空き店舗を利用して土日の営業をしている。人が来やすい時にやっている。農家の人には時期をあわし、一般の人は動きやすいときに営業すれば、人が集まりやすいのでは。

会長) 鹿野の人と話しをしたが、自分が空き店舗を持っているとしたら、土日だけでも開店しようかなと考えるそう。松崎の人が「自分も店先で何かやってみようか」のようなチャンスづくりができたと思う。地域の人が自分も何か参加しようかと思うようなアイデアを募集したい。松崎を活性化するためのアイデアを集めたい。よろしいでしょうか。

会長) 次にN-産業、商業。

委員) 繰り返しの話になるが、なにを売るか、イメージがある。しじみや梨はあるが、発信先の年代によってわかる。情報発信も費用がかかるので、お金のかからない手軽なことを考えたい。ブランドを作って発信したい。今はバラバラな感じ。天女もつくったが、何も活用していない。次の展開を考えていく必要がある。ブランドをつくって終わりの感じがする。活用されていない。

委員) 天女というブランドをつくらうとしているが、商工会は商工会で、農協は農協でやっている感じ。東郷町時代は梨といったらみんなが一緒になってやっていたが、今はそれぞれが旗を振っていて、参加してはいる

が連携が出来ていない感じがする。連携してお互いにやる、というものがあるといい。

会長)仕事が無い産業がない件

委員)産業がないから若者が帰ってこない。この地域では観光に力を入れたい。観光について注目する体制が出来ていない。

会長)商工会、行政との連携について

副会長)連携がない。商工会、農業の方、行政の方もひとつになって連携していかないと発展は難しい。

会長)ブランドづくり、もあるが、どのように連携をしていくのか、どのように発展させていくのかを考えていく、よろしいでしょうか。

会長)O-まちづくりの方向性の施策

委員)いいものがありながら、宝の持ち腐れのようなところがある。

委員)東郷池、温泉を活かすには、環境美化が必要になる。以前、商工会で花を植えるなどしたこともある。鹿野では各家の前に壺を置いて蓮を飾っている。木を植えるなどでも、松崎がきれいなまちと思ってもらう。竹の筒に花を挿すでも、家の前に花をだすなどでもいい。池の周りのごみを無くすと同時に、飾ることも考えていく努力をしたい。木や草花などへの意識を持っていくことが必要なことだと思う。

会長)まちのポリシーについて

委員)湯梨浜町内には地域によって強み、弱みがある。他の地域にない強みをまちづくりに活かすようにしては。町の行政がメッセージを出して頂いてもいいのでは。町の方ではこう考えています、というようなことをしてはどうか。

会長)ハード面でも環境美化など、住民の取り組みなどの提案を考えて頂きたい。一体化する取り組み。

委員)ウォーキングに関して、どこに聞けば、そのことがわかる、など。どこでもいいがまとめ役がいるといい。

町の調整機能が発揮されていない。

会長)町への要望事項にしたい。

副会長)町の方へ。ふじ荘は撤去が出来ないのか？目障りである。

副町長)民地なので町では撤去できない。

副会長)コンタクトをとって処置できないのであろうか。

副町長)町として必要な土地かどうか、必要な場所であれば町が考えることもあるかもしれないが。その判断が必要。

会長)今回の協議は以上で終了。(白板読み上げ)1月26日(木)代表者でいんしゅう鹿野を事前視察。2月下旬から3月上旬に全員で視察と考えている。松崎は宿題方式でご検討を願っています。いろいろ時間を制約しますがよろしくお願ひします。次回の会合は月曜日がいいでしょうか。2月20日(月)にします。事務局は本日の重点テーマを整理してレポートを今月中に委員へ届け、来月の早めに委員さんの意見を回収することとします。

湯梨浜町づくり会社として社長の方から説明します。

まちづくり会社社長)昨年12月、官民協働の会社を立ち上げました。(1月号ゆりはま)ここに書いていますが、地域包括ケア、移住促進、交流拠点の整備、自立型のサービスつき高齢者向け住宅の整備を考えています、まずは松崎地区から初めて考えて今後は泊、羽合と町全体と考えていく。まずは旧Aコープ、29年度に改修、開設を目標にしています。とりあえず、よどやさんをお借りして、木曜金曜以外の曜日になんらかの活動を始める予定です。内容としては、活動に共鳴して頂ける団体との連携や住民のまちづくりの意見を募ったり、観光案内所のお試しなどをしていきたい。皆さんにご協力いただきながら、頑張りますのでよろしくお願ひします。

会長)区長会にも案内しました。3月8日にお試しDO店舗を開設しますので、ご出席して下さるよう、案内していきます。

委員)活性化協議会とまちづくり会社の関係は、どのようなつながりがあるのか。

会長)私たちはプランナーとして活動もするが、まちづくり会社に提案し、一緒に活動していきたい。それができるセンターを一緒につくっていきたい。まちづくり会社の初事業が、お試しDOセンター。

委員)具体的には？

まちづくり会社社長)Aコープの活用を進めるが、まずは出来るところから。必要なことを、みなさんの目に見えるところで活動していきたい。

会長)今、まちづくり会社は東郷支所に居るが、活動が見えないので、松崎商店街に来て、誰かスタッフが常駐するような形になると思う。

事務局)視察ですが、相手先のこともあり、行く手段もあるので日程を速く決めたい。

会長)今決めましょう。任せて頂いていいか。昼から半日程度で考える。早めに日程を調整してご連絡する。(視察日程について、事務局一任の了解を得た。)

長時間にわたりご討議いただきありがとうございます。閉会します。

以上